

## 米国産バイオメタンの調達契約の締結について

2025 年 11 月 28 日 大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社(社長:藤原 正隆、以下「大阪ガス」)の100%子会社である Osaka Gas USA Corporation(社長:生田 哲士、以下「OGUSA」)の子会社\*1は、このたび、bp グループの Archaea Energy が米国で生産するバイオメタンの調達契約を締結いたしました。

本契約の締結により、当社はArchaea Energy が米国内に保有するゴミ埋立地由来バイオメタン製造施設から、バイオメタン(約2.6万 Nm³(約20トン))を購入します。購入したバイオメタンはフリーポート LNG 基地にて液化の上、出荷し、当社が関西に保有する LNG 基地での受け入れを予定しています。なお、当該米国バイオメタン製造事業から生み出される環境価値\*2を付与した都市ガスは、関西のお客さま施設において利用される予定です。

本取り組みを通じて、e-メタン・バイオメタンの日本導入に資する国内外のサプライチェーン構築を目指します。

バイオメタンは、バイオガス\*3の精製(CO<sub>2</sub>除去等)により天然ガスと同程度までメタン濃度を高めたガスを指し、燃焼時に新たな二酸化炭素を放出しないとみなされるため、都市ガス燃料の脱炭素化に繋がる手段として注目されています。

米国は、豊富な原材料や、環境価値の取引制度等の先進的な政策・制度の存在から、世界有数のバイオメタン生産国であり、将来的には日本の主要な輸入先となることが期待されます。

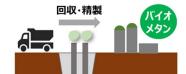
Daigas グループは、2025 年 2 月に発表した「エネルギートランジション 2050」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの"さらなる進化"のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

- \*1: Osaka Gas Trading and Export LLC (以下「OGTX」、OGUSAの100%子会社)
- \*2:現在、海外産 e-メタン・バイオメタンが保有する環境価値は我が国の温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 (SHK 制度) 等での活用は認められておらず、国の審議会等で算定ルールの検討が進められている。本取り組みでは北米で運用されている環境価値の証明・追跡を行うシステム「M-RETS (Midwest Renewable Energy Tracking System)」により生成される環境価値を活用する予定
- \*3:メタン発酵等により家庭ごみ、下水汚泥、家畜糞尿、食品残渣等の有機化合物が分解される際に発生する、メタン、CO<sub>2</sub>を 主成分とする可燃性ガス



■本事業のイメージ (一例)

米国ゴミ埋立地由来 バイオメタン製造施設 フリーポートLNG基地 での受け入れ・液化 LNG船で 日本へ輸送 国内LNG基地 での受け入れ











ゴミ埋立地由来バイオメタン 製造施設の様子 (Archaea Energy 提供)

以上